



国際会長主題  
 アジア太平洋地域会長主題  
 東日本区理事主題  
 東新部部長主題  
 クラブ会長主題

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」  
 「変化をもたらそう」  
 「変化をたのしもう！」  
 「友情の絆を強めYMCAを支えよう」  
 「クラブライフを楽しもう」  
 Enjoy your club-life!

Jacob Kristensen (Denmark)  
 David Lua (Singapore)  
 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)  
 加藤 義孝 (東京クラブ)  
 朝倉 正昭 (東京世田谷)

会長 朝倉 正昭  
 副会長 松井 直樹  
 書記 松井 直樹

## 2020年9月会報

強調テーマ

\* ユース \*

STEP YEEP YIA

会計 小原 武夫  
 直前会長 寺門 文雄  
 担当主事 池田麻梨子

### ↑今月の聖句

疲れた者に力を与え  
 勢いを失っている者に大きな力を与えられる。  
 若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが  
 主に望みをおく人は新たな力を得  
 鷲のように翼を張って上がる。  
 走っても弱ることなく、歩いても疲れない。  
 (英文割愛)  
 旧約聖書 イザヤ書 40章 29-31節  
 (小川 選)

### 今月のプログラム

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 司会                | 小原 武夫 君            |
| 1. 開会点鐘           | 朝倉 正昭会長            |
| 2. ワイズソングと信条      | 一同                 |
| 3. ゲストとビジター紹介     | 朝倉 正昭会長            |
| 4. 今月の聖句朗読        | 小川 圭一 君            |
| 5. 会食 ありません       |                    |
| 6. クラブCS 活動に関して   | 小川 圭一 君<br>寺門 文雄 君 |
| 7. ハッピーバースデイ 9月2日 | 寺門 文雄 君            |
| 14日               | 佐藤 環さん             |
| 15日               | 村野 繁 君             |
| 結婚記念日             | なし                 |
| 8. ニコニコ献金         |                    |
| 9. 諸報告            |                    |
| 10. 閉会点鐘          | 朝倉 正昭会長            |

### ※ 9月例会プログラム

とき 令和2年9月18日(金) 18:00~19:00  
 ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F  
 電話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

8月のデータ	会員在籍	13名	例会出席者	8/21日(金)	8月のBF	ニコニコファンド		
	出席率	85%	会員	11名			切手	0g
第2例会 (中止)			メネット	0名	現金	円		
			メイキャップ	0名	累計切手	0g		
			ゲスト	2名		8月	9,000円	
			ビジター(含むzoom)	4名		年度計	20,000円	
			合計	17名				
			すずらん会参加者	日(木)				
			ゲスト	0名				
			スタッフ	0名				
			合計	名				
			新型コロナウイルスの影響で					
			東京世田谷ワイズメンズクラブは					
			2019年10月31日 社団法人日本					
			キリスト教海外医療協力会(JOCS)					
			に年会費10,000円を納入し継続しま					
			した。					
			注: JOCS 献金記録の掲載					
			すずらん会やコミュニティコンサート					
			ではかねてよりJOCSへの応援を行って					
			いる。					
			使用済み切手とワンコインの					
			献金など。					

## ※ 本日のメインプログラム

前月に引き続き、コロナウイルスの感染拡大のため、開催出来ない状況が続いている、CS活動の今後の対応と方向性を皆様とブレイン・ストーミングで定めたいと思います。皆様のご忌憚のないご意見をお聞かせください。

なお、ZOOM 対応例会といたします

## ※ 8月例会報告



久しぶりに松井直樹会員が参加された。松井会員は神学校で学んでいらして、例会時間と授業が重なる為、例会参加が困難でしたが8月は参加可能と言うことで、お友達の戸塚さんをお連れになりご参加に。

さて、2003年より活動している、童謡・唱歌を歌う会は、このコロナ禍で開催できず、歌の会を楽しみにしている方々ともお会いできません。今月は、小川会員のリードで、ZOOM参加の方々を交え、意見交換の場となって、SNSを活用して歌の会を継続できないか、YMCAのユーチューブ等を参考にリモートでお家で歌の会をと、いろいろご意見を頂き、具体的な対応を実行委員会を設けて行うこととなりました。

寺門直前会長、小川会員のタグで、CS活動に光が差した例会となりました。

(小原 記)

## ※ 秋田正人さん 自己紹介



こんにちは。東京 YMCA 職員の秋田正人と申します。世田谷に保育園が出来、その関連で、世田谷ワイズのメンバーとして加わらせて頂くこととなりました。(ちゃんと会費もお支払

いします。)簡単にワイズとの関連を中心に自己紹介させていただきます。

私はこれまで比較的若いワイズに関わらせて頂きました。最初の関わりは、発足2年目の宇都宮東クラブ、次に那須クラブのチャーターメンバー、その後は、東京たんぽぽYサービスクラブのチャーターメンバーとして関わらせて頂き、東京セントラルクラブのチャーターにも間接的に関わらせて頂きました。最後のセントラル以外はすべて担当主事です。さらにその後はメンバーとして、宇都宮クラブ、大阪土佐堀クラブ、東京帰任後(2018年度以降)は、しばらくワイズメンとしての生活から離れていました。

東京時代もワイズメンを通じて、北海道や仙台など、多くの東日本のクラブの方々にお世話になりましたが、大阪土佐堀時代は、初めて西日本区のメンバーになり、西日本のクラブの方々と交流させて頂いたのは新鮮でした。また熊本地震の時は熊本 YMCA の避難所に3か月関わらせて頂き、その時には、九州部会にも初めて列席させて頂きました。

こんな感じでこれまで何人のワイズメンの方々にこれまでお世話になってきたでしょう！本当に皆様ありがとうございました。そして今度は世田谷区の保育園を中心にお世話になるとと思いますが、世田谷の皆さん、全国の皆さん、あらためてヨロシクお願い致します。

## ※ YMCA 保育園 ねがい 植栽奉仕



台風10号は九州地方に多大な被害を残し通り過ぎて、その後も不安定な天候が続く東京、幸い好天に恵まれた9月9日(水)午後、一周年を迎えたYMCA

保育園ねがいでの植栽奉仕をおこなった。

保育園児の元気な泣き声も聞こえる園舎の前庭での植栽。枯れた草木を取り除き、土を掘り起こし、肥料を加え植え付け準備をし、ペコニアのピンクと赤色を交互に植え付けた。そのほか、保育園玄関前のプランター、園庭の周りなど、枯れた草木を植え替えて、2時間余りの植栽活動はピリオドへ。

奉仕参加者、寺門、三浦、岩崎、川嶋、小原、そして秋田正人さんも駆けつけてくださり、アイスクリームの差し入れに、シニアボランティアも元気回復。いい汗をかいた植栽活動でした。(小原 記)



## ※ YMCA すずらん会の 再開と展望

本家・元祖歌声サロン、YMCA すずらん会がコロナ禍で自粛を余儀なくされて半年が過ぎました。

それでも、歌を忘れないカナリヤ達は、再開を目指して模索しています。この夏「すずらん会が懐かしい、いつ頃ですか？」という一本の電話をきっかけに、歌声サロンの本家である南センター3階での再開を決めました。あとは、来会者の検温手指消毒からソーシャルディスタンスを図るための人数などの検討など・・・を経て、内容面の組み立てや告知など、楽しく頭を悩ましています。

実は下北沢すずらん会でも、同じような思いの中で、世話役の皆さんが集まり検討を重ねて、再開にこぎつけました。受付記録の作成と保存、会場の除菌作業、礼拝堂の本番を映像化して別室で流す、などなど。教会牧師先生と役員の皆様に音楽サポーターも含めて10名程での会議でした。

ワイズの信条は「出来る人が、出来る時に、出来る事を」です。本家・元祖歌声サロンも、長期の継続を目指してはいません。その代わり、懐かしい！と言って下さる方を迎えて、出来る事を尽くしたいと思います。歌えるマスクのご紹介、LINEによるビデオ通話のおすすめ、換気タイムの素敵な過ごし方、などなど企画は楽しんで考えていきましょう。そして、世田谷ワイズ友の会に登録者をたくさん増やしましょう。その中から、YMCAの会員が一人でも増えますように。(小川 記)

## ※ 会長通信 2009

コロナ感染の拡大で我々の活動に急ブレーキが掛かっています。その中で皆様と今後の対応をどの様にすべきかを、電話で意見交換をしています。7月中旬に国際協会からコロナをどの様に考えるべきかという方針を受け取りました。皆様既に東日本区のホームページでご覧になったかもしれませんが、我々の今後の方向性を示す大事な指針ですので、重複するかもしれませんが、このコーナーをお借りしてご紹介いたします。書記長の方針は二項目に分かれています。一つ目は、コロナ感染の拡大の現況と収束の見通しが全く立たない中で、我々に唯一の情報交換の方法として残されているのは、インターネットを通じての情報交換としています。(ICT)書記長が指針としているのは、先ず我々ワイズメンズクラブの会員間の情報交換においてインターネットの使用を今まで以上に進めて欲しいという事です。その理由は、おおよそ世界の人口の半分は、経済的あるいはITの知識不足のため、あらゆる意味で情報を入手する機会を逃し、情報不足のため、就職の機会を得られなくなるような事態から、決定的な社会的格差、経済的格差を激化し、社会的弱者を拡大させる事に繋がるといわれています。これは、世界の先進国と後進国の間に見られるあらゆる格差を見れば明らかですし、一国、一地域での格差を見る事でも理解できます。一般的にはこの現象をデジタルデバイド(情報格差)と呼び、これが現代社会の最大の問題になっています。従って、我々任意の地域奉仕団体としては、コロナ後の社会では何としてもこの情報格差を解消する事に努めて欲しいといわれ所以です。ワイズメンズクラブが高齢化している事は周知の事実であり、ともすると高齢者はITの進化に遅れをとっているのも事実です。然し乍ら、現況ではITへの知識はワイズメンズクラブとは言わずともあらゆる社会的組織や、団体にはその生存のためには絶対必要条件としています。国際協会の書記長は、世界の1,500のクラブの指導者に各ワイズメンズクラブの中での情報格差を防ぐ努力をしてほしいといわれています。第二番目の項目は、我々ワイズメンズクラブのあらゆる活動の原点である地域事業をコロナの感染拡大の中であつても、停滞させないで欲しいといわれています。今まで我々が支えてきた方々への支援が止まってしまうと、情報格差の拡大は、社会的弱者や社会の底辺で生きられている方々を、ますます困難な状況に追い込んでしまう事になると思われるからです。国際協会の書記長は具体的に各クラブにどのような活動をするべきとは明示されておりません。それだからこそワイズメンズクラブの存立の基盤である地域に根差した日常的な活動を我々の知見を結集させることが必要といわれているのだと私は理解しました。以上の二点を今後の我々の活動の指針とし、我々メンバーの持つ経験と知識を結集出来れば、コロナ感染拡大は危機ではなく好機であると考えます。

(朝倉 記)

## 第24回東新部部大会 ハイブリッド開催

日時：2020年10月10日（土）  
会場：東京YMCA 東陽町センター YMCA ホール  
受付 13:30～ 開会 14:00 懇親会 15:30～16:30  
会費：無料

### ☀️ YMCA NEWS

#### <南センター8月ご報告>

- 7/27-29 帰国生クラス 2名  
8/1-2 わくわくデイキャンプⅠ（年長～小4） 8名  
（リーダー3名）  
8/6-7 リトルサマースクール（年中～小2） 14名  
（リーダー5名）  
8/8-9 わくわくデイキャンプⅡ（小1～小6） 8名  
（リーダー3名）  
8/17-19 わんぱくデイキャンプ（小1～小6） 13名  
（リーダー5名）  
8/22-23 どきどきデイキャンプ（年少～年長） 5名  
（リーダー2名）  
8/12-15 山中ファミリーキャンプ（3期） 計28家族  
8/13 YouTube 配信「リーダーと一緒に（真夏の南国クッキング）」カレーとゼリーをリーダーたちが作り、紹介しました。  
8/15 「バーチャルキャンプ」  
宿泊キャンプは中止、例年より少ない参加者とリーダーたちでしたが、それでも参加してくれた子どもたちは元気いっぱい夏らしく外遊びがたくさんできました。英語のプログラムも新しく実施し、元気で明るい前田チューリップ先生が楽しい英語レッスンを展開してくださいました。  
怪我や体調不良など無く終了しましたこと感謝を持ってご報告いたします。



#### <東京YMCA 8月ご報告>

- 7月3日から熊本県を中心に降り続いた豪雨による被災者を支援するため、「熊本豪雨災害・ポジティブネット募金」を開始した。東京YMCAは全国YMCAとともに、熊本YMCAが行う以下の支援活動に協力していく。
  - ①特に甚大な被害があった球磨村の、旧熊本県立多良木高校避難所の運営支援
  - ②ボランティアの募集と派遣、及び支援者のケアプログラム
  - ③子どもたちの心のケアプログラムと被災高校生へのスカラシップ
- 7月中旬、バングラデシュとその近隣諸国では、記録的な豪雨により多くの家屋や道路が浸水し、240万人を越える人々が被災した。東京YMCAとパートナーシップ関係にあるバングラデシュYMCA同盟は、特に被害の大きかったボグラ、ゴパルゴンジ、ビリシリ地域にある各ローカルYMCAを中心に、救援物資や食糧などの配給を行う緊急支援活動を開始した。東京YMCAも国際協力募金から3,000ドルの支援を行う。
- 毎年9月に、障がいのある子どもたちの支援を目的に「東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」を開催しているが、第34回となる今年は新型コロナウイルス禍のため通常の駅伝大会としての開催が難しいことから、スマホアプリを使ったウォーキング大会として開催することとした。  
10月24日～11月1日（9日間）の期間に、各自歩いた歩数をカウントし、チームの平均歩数を競う。また本大会前の期間に「こどもウォーク」や個人を対象とした「プレ・イベント」も実施し、主旨に賛同する方々に広く参加を呼びかける。益金は東京YMCA及び全国YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用いられる。
- 今後の主な行事日程  
「第22回愛恵エッセイ募集  
<豊かな福祉社会を創るために>」  
11月13日締切  
（東京YMCA会員部と愛恵福祉支援財団との共催）
- 感謝  
日本YMCA同盟国際賛助会を通じて、味の素株式会社及び株式会社伊藤園より、YMCAの行う公益プログラムのために、食品や飲料の寄贈をいただいた。
- 深 悼 謹んで哀悼の意を表します。  
加藤幹雄氏（東京YMCAアドバイザー）  
7月24日召天 享年84歳
- 他YMCAの動き  
熱海YMCAは9月1日より、「静岡YMCA」に名称を変更する。

（池田 記）